

# 山口県立華陵高等学校

## 学校概要

【学校教育目標】グローバルな視野をもち、地域社会の一員として貢献できる生徒（グローバル・リーダー）の育成  
【設置学科】普通科、英語科



## 研究テーマ(共通)

ICTを効果的に活用した主体的・対話的で深い学びの実現をめざす授業づくりの研究  
～基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、自律した学習ができる生徒の育成をめざして～

## 研究テーマ(英語科)

『ICT等を活用し、物事を多角的に捉えさせ、常識を揺さぶることで問題解決能力を高める。』（批判的思考力・交渉力・考えを適切に表現する力）

## 単元の開発

《教科・科目》外国語（英語） 《学年》1・2年  
《単元》オンライン国際交流

英語による実践的コミュニケーション能力の育成および物事を多角的に捉える力や問題解決能力の育成に向けて、海外の姉妹校等との生徒同士によるオンライン交流を実施している。今年度は授業の中で、英語科の1・2年生が、姉妹校であるカワナ・ウォーターズ・ステイト・カレッジ高校（オーストラリア）と16回、また米海兵隊岩国航空基地内にあるマシュー・ペリー高校と2回オンラインで交流し、お互いの学校や文化についての紹介とそれに関する質疑応答を英語と日本語を交えて行った。今後は、批判的思考力のさらなる育成に向けて社会的な問題に関するディスカッションやディベートを行うなど、交流の内容をさらに充実したものへと発展させていきたいと考えている。

### ◆ 単元の特徴

- 「学校生活」「スポーツ」「食べ物」等、事前にテーマを決め、話す内容をあらかじめ整理したうえで他国の生徒の考えを聞くことで、交流がさらに深まるよう努めた。
- 日本語を学習している外国の生徒と、英語と日本語の両方を用いて交流することで、お互いの学習に利益があるよう工夫した。

### 「主体的・対話的で深い学び」の視点

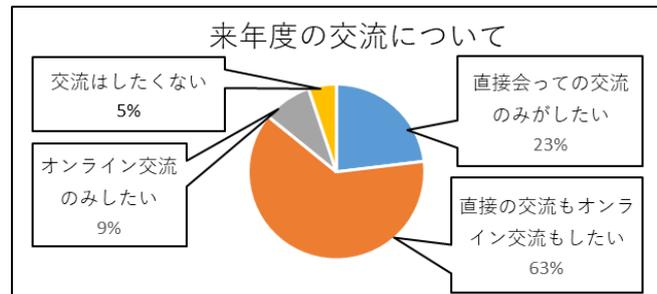
知識を相互に関連付けてより深く理解し、情報を精査して考えを形成する

目的や場面、状況などに応じて、相手の求める情報を思考・判断し表現する

### ◆ 単元の評価・生徒の変容等

- アンケートによると、オンライン交流に肯定的な生徒は多いが、対面交流ほどの満足度は得られていない。
- 一人がより多く発言できるよう、今後、回数や形態および内容を、さらに改善する必要がある。

来年度の交流について



## 実践研究の成果

- 他国の生徒とのオンライン交流を通して、自国とは異なる文化を知り、自分とは異なる考えを聞くことで、幅広いものの見方・考え方を身に付けるとともに、自己の考えを深めることにつながった。

## 研究テーマ(家庭科)

『ICT を活用し、さまざまな見方・考え方を理解し、情報収集能力を高め、問題解決に主体的に取り組む。』(さまざまな知識と技能を身につけ、生活を主体的に営む力)

### 授業展開例

《教科・科目》家庭・家庭総合 《学年》1年  
《単元》これからの食生活(持続可能な食生活をめざして)

【本時のねらい】

食生活を取り巻く環境の変化に伴う様々な課題の中で、食料問題の食品ロスについて、各家庭の現状を理解し、その改善のための工夫を考える。

	生徒の学習活動	評価及び指導上の留意点
導入	1 本時の目標を知る。 2 自分の食生活を振り返る。 3 DVD を視聴し、環境に負荷をかけている食生活の行動を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前アンケートの回答を表示し、各家庭の食品ロスの状況を集約する。</li> <li>プロジェクターで提示する。</li> </ul>
展開	4 各家庭の食品ロスについて、状況の詳細と原因、毎日の食生活でできることを話し合い、スライドにまとめる。(タブレット端末活用)  5 まとめたことを班ごとに発表する。(タブレット端末活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>班ごとに意見交換を行い、スライドに話し合いの内容をまとめる。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクターで提示する。</li> <li>発表内容から、食品ロスが起る要因をまとめる。</li> </ul>
まとめ	6 本時の学習内容の中ですぐに自分の生活で取り組めることを考えまとめる。(タブレット端末活用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の発表内容に加え、班ごとの発表を聞き、自分の生活でできることを感想とともに、Google フォームに入力する。</li> </ul>

### 「主体的・対話的で深い学び」の視点

Google フォームで自分の家庭の状況を回答し、その結果を集約することで、自分のこととして学習内容に取り組む意識が高まる。

アンケート項目

- Q1 食品ロスについて、ニュースなどを見たことがありますか。
- Q2 あなたの家庭では、どのくらいの頻度で食品や料理を捨てますか。
- Q3 家庭で廃棄した食べ物を答えなさい。

班ごとにお互いの考えを聞くことで、自分の考えをより深める。

各班の意見を知ることで、考えをさらに広げる。

学習を通して深めた考えを自分の生活の中で具体的にどのように生かすことができるかまとめ、自分の食生活の改善につなげる。

### 実践研究の成果

- ◆グループ学習にタブレット端末を活用することで生徒全員が積極的に話し合いに参加するとともに、まとめについても効率的に行うことができた。
- ◆タブレット端末の活用を通し、生徒の意見の集約を効率よく行うことができ、これを活用しながら授業を展開することで、生徒の学習意欲を高めることができた。

### 生徒の感想

- ◆いろいろな考え方を知ることができた。家でさっそく実行してみたいと思った。
- ◆学んだことを今日から実践して、食の面で親から自立できるようにしたい。
- ◆家に帰って、冷蔵庫の中の消費期限が近いものを探して、それを使って料理を作ってみる。

学校ウェブページURL

<http://www.karyo-h.yasn21.jp>